

「交流会：震災・原発事故と大学・研究について」

2011年7月9日（土）17:00~17:30

東京大学文学部法文2号館1番大教室

会員みなさま

3月の大地震、津浪、原発事故で被災された会員みなさまに心からお見舞い申し上げます。

このたびの災害の影響は東北はもちろんのこと、程度の差はあれ、全国さらにはアジア、世界へも及んでいます。

私たちが直接かかわる教育・研究の面でも深刻な問題として受けとめられつつあります。大会は被災された大学の会員のかたからお話をうかがい、意見を交換するよい機会ではありますが、今年度の大会は震災前より準備されておりましたので、そのための場所や時間をとるのはもはや間に合いません。けれども、1日目自由論題の9日の第1セッション後、総会までのあいだは1番大教室が空いていますので、半時間という短い時間ながら、ささやかな交流の場とすることにいたしました。ご関心のあるかたは是非、お集まりください。

まず福島大学の手代木有見会員が原発災害と福島大学について話をしてくださるとのことです。

なお、総会ののち、場所を移して「会外交流」をすることも考えておりますので、総会後のアナウンスにご注意ください。

中国社会文化学会理事長

坂元 ひろ子